

# あなみず 議会だより

2025 vol. **53**  
令和7年8月1日発行  
石川県穴水町議会



令和7年6月25日 東京都奥多摩町議会行政視察



令和7年6月30日 岐阜県八百津町議会行政視察

補正予算の概要	2~3
常任委員会での意見	3
議案一覧と採決状況	4
議会新体制 / 議員活動レポート	5
一般質問	6~9

## 補正予算の概要【令和6年度専決補正】

令和6年度一般会計及び各特別会計、企業会計については、年度末の決算見込みや事業費の確定及び精算による専決補正を行いました。

会 計		3月補正（専決）	予算額（補正後）	
一 般 会 計		▲1億2,257万円	462億4,809万円	
特別会計	国民健康保険	▲1,046万円	11億1,769万円	
	公共下水道	▲21億3,075万円	8億1,590万円	
	介護保険	▲7,140万円	15億2,487万円	
	後期高齢者医療	▲130万円	1億9,167万円	
企業会計	病院事業	収益的	—	26億9,553万円
		資本的	—	3億6,921万円
	水道事業	収益的	3,299万円	3億3,405万円
		資本的	▲3,084万円	9億6,939万円
合 計		▲23億3,433万円	542億6,640万円	

※企業会計は支出額を計上

## 補正予算の概要【令和7年度6月補正】

会 計		6月補正額	予算額（補正後）	
一 般 会 計		6億8,774万円	251億3,874万円	
特別会計	国民健康保険	—	11億232万円	
	介護保険	—	14億8,803万円	
	後期高齢者医療	—	1億8,324万円	
企業会計	病院事業	収益的	—	26億7,241万円
		資本的	1,848万円	3億6,608万円
	水道事業	収益的	—	3億3,641万円
		資本的	—	7億2,084万円
	下水道事業	収益的	—	3億1,607万円
		資本的	101万円	27億4,173万円
合 計		7億723万円	350億6,588万円	

※企業会計は支出額を計上

### ◆ 主な事業（一般会計）

○ 穴水小学校関係施設整備事業 4億8,866万円  
建設予定地の用地測量や造成設計費用、既存の埋蔵文化財センター解体費用、校舎を含む体育館、プール、図書館、給食調理場等の複合施設の基本設計及び実施設計

○ 地域コミュニティ施設等再建支援事業 4,100万円  
被災した集会所・神社・寺などの再建に係る費用の一部を、既存の補助率（75%）、上限額（1,200万円）を変更し上乗せ支援  
補助率：90%（上限額 2,000万円）

○ 井戸水水質試験業務委託 52万円  
「井戸水マップ」作成に伴い水質検査を実施  
対象数：39箇所

○ スマート蠣養殖事業 1,406万円  
通年出荷を目指し三倍体人工種苗の実証実験を実施

○ 震災復興大使任命事業 250万円  
落語や芸能活動を通し、復興に向かう町の魅力を全国に発信するため復興大使に二代目 林家三平氏を任命

○ 釣り筏更新事業 180万円  
観光資源である釣り筏を更新し、海洋レジャーの誘客促進を図る  
補助率：石川県 1/2、町 1/4

○ 携帯電話基地局施設災害復旧工事 1,338万円  
被災した基地局の復旧工事  
対象基地局：大角間基地局

○ 太陽光式避難誘導灯改修工事 1,000万円  
誘導灯の老朽化したバッテリー交換を行い、夜間の安全確保を図る  
対象数：88基

○ 学校体育館空調設備工事実施設計業務委託 1,606万円  
夏の猛暑に対応するための小中学校の体育館に空調設備整備の実実施設計費

### 総務産業建設常任委員会での意見

- ・地域コミュニティ施設等再建支援事業において、各地区代表者に周知を図り、積極的に活用し集落の維持に努めること
- ・国、石川県や町において、新たな支援策が出された際には、速やかに町民や事業者へ周知を図り、一日も早い生活再建が図られるよう努めること
- ・住宅の再建か復興公営住宅への入居に悩んでいる町民の判断材料となるよう、復興公営住宅の概算家賃やモデル的な間取りなどに関する情報の提供を速やかに行うよう努めること
- ・仮設商店街「あなみずスマイルマルシェ」は、多くの町民などで大変賑わっているが、建物に入る玄関扉の開閉に苦慮するので、工夫をして欲しい

### 教育民生常任委員会での意見

- ・災害時の避難所となっている集会所など、修繕が完了していないところが多いが、いつ何時、災害が起きるとも限らないので、スピード感をもって対処して欲しい
- ・令和6年度各会計の補正予算は減額補正が殆どである。地震の影響により多くの事業が計画どおり実施できなかったことが背景にあるが、令和7年度は震災からの復興に向け計画した事業を積極的に実施して欲しい
- ・埋蔵文化財センターが新穴水小学校の建替計画に伴い解体予定であるため、新たな保管場所が必要となるが、大切な町の財産であることから保管には慎重を期すこと
- ・新穴水小学校の建替計画に伴い、中学校の部活動に影響が出ないよう配慮をお願いする
- ・「保育機能確保・強化のためのモデル事業」を3保育施設で実施するよう努めて欲しい

諮問第1号 人事案件 人権擁護委員 井上康弘氏（河内）再任  
任期：令和7年10月1日～令和10年9月30日



議会  
人事

# 新体制がスタートします！

6月定例会で、常任委員会等の委員の選任が行われました。

委員会	委員	所管事項
総務産業建設 常任委員会	◎ 小泉 一明 ○ 伊藤 繁男 小谷 政一 山本 祐孝 大中 正司	総務課、復興推進課、税務課、観光交流課、地域整備課、上下水道課、会計課、選挙管理委員会、農業委員会などに関する諸問題を協議します
教育民生 常任委員会	◎ 宮本 浩司 ○ 湯口 かをる 佐藤 豊 小坂 孝純 浜崎 音男	環境安全課、住民福祉課、子育て健康課、教育委員会、公立穴水総合病院に関する諸問題を協議します
議会運営委員会	◎ 伊藤 繁男 ○ 小谷 政一 宮本 浩司 小泉 一明 小坂 孝純	議会を円滑に運営するために、各事項に関し審査を行います

◎委員長 ○副委員長

一部組合議会	議員名
輪島市穴水町環境衛生施設組合議会議員（3名）	（新）湯口 かをる （旧）伊藤 繁男

## 議員活動レポート

### 東京都奥多摩町議会 行政視察受入

6月25日に奥多摩町副町長を始め奥多摩町議会から13名が訪問。震災からの復興状況について意見交換が行われ、災害支援金が町長に手渡された。



### 岐阜県八百津町議会行政視察受入

6月30日に災害協定を結んでいる八百津町長を始め八百津町議会から11名が訪問。震災から現在までの復旧状況について意見交換が行われた。



会期：令和7年6月3日～6月13日

番号	議案名	可否	摘要
議案第37号	令和7年度穴水町一般会計補正予算（第1号）	原案可決	全員賛成
議案第38号	令和7年度穴水町病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第39号	令和7年度穴水町下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第40号	6災5408号 町道東部中央線道路災害復旧工事請負変更契約について	原案可決	
議案第41号	6災5409号 町道東部中央線（その2）道路災害復旧工事請負変更契約について	原案可決	
議案第42号	6災5410号 町道東部中央線（その3）道路災害復旧工事請負変更契約について	原案可決	
議案第43号	6災5411号 町道東部中央線（その4）道路災害復旧工事請負変更契約について	原案可決	
議案第44号	財産の取得について（小中学校生徒用タブレット：299台購入）	原案可決	
議案第45号	令和7年度令和6年災農地災害復旧事業4610-6141号（4610-6120号ほか）合併工事請負契約の締結について	原案可決	
議案第46号	令和7年度令和6年災農地災害復旧事業4610-6114号（4610-6115号）合併工事その1（繰越明許）請負契約の締結について	原案可決	

報告第3号	令和6年度穴水町一般会計補正予算（第8号）の専決処分の報告について	原案承認	全員賛成
報告第4号	令和6年度穴水町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第5号	令和6年度穴水町公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第6号	令和6年度穴水町介護保険特別会計補正予算（第3号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第7号	令和6年度穴水町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第8号	令和6年度穴水町水道事業会計補正予算（第5号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第9号	令和6年度穴水町病院事業会計繰越計算書について	原案承認	
報告第10号	穴水町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	
報告第11号	穴水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	
報告第12号	穴水町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	

諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案適当	全員賛成
-------	--------------------------	------	------

議会報告第2号	例月出納検査の結果報告について		
議会報告第3号	令和7年度（一財）穴水町文化・スポーツ振興事業団事業計画書及び予算書の報告について		

※ 浜崎音男議員は欠席



宮本 浩司 議員

### 由比ヶ丘住宅団地等の宅地について

**問** 国「大規模盛土造成地滑動崩落防止事業」は、由比ヶ丘住宅団地や城山地区に適用されるのか

**答** 当事業は、盛土規制法に基づく勧告又は造成宅地防災区域の指定を県から受ける必要があり、更に採択要件がある。現時点で、城山地区は要件を満たしていない。由比ヶ丘地区は住民の意向を踏まえ検討することになる  
(金谷地域整備課長)

**問** 住民意向調査の結果により工事の実施が左右されることはあるのか

**答** 道路災害復旧事業での工法選定を進めている。調査は、詳細な工法選定や再建、移転の有無の把握を行う前提となる。結果により、工法の選定変更が生じる場合もある  
(金谷地域整備課長)

**問** 建べい率、容積率の説明はされているのか

**答** 住民意向調査の折に説明する  
(金谷地域整備課長)

**問** 同調査の結果はどう反映されるのか

**答** 地区内の工法選定や路線整備の参考とする  
(金谷地域整備課長)



**問** 永代供養墓や納骨堂の要望への対応は

**答** 県内外の先進事例の情報収集・調査から実態や動向を把握し、基本的な考え方を整理する  
(小林環境安全課長)

**問** 合葬墓の整備に向けた調査・研究の具体的な内容は

**答** 永代供養墓は、寺院や霊園が管理や供養を行うもので公設は想定していない。納骨堂は、他市町でも期限を設け遺骨を返還できる体制を取っており、整備に向けた調査・研究を想定している  
(小林環境安全課長)

### 合葬墓について



**問** 復興計画では合葬墓とあるが、永代供養墓や納骨堂は想定されないのか

**答** 災害危険区域などに指定され、全ての住居移転が原則となる。当地区は、災害復旧工事を行えば住宅再建が可能な地域と考えられ、現地の住宅再建をお願いしている  
(金谷地域整備課長)

**問** 集団移転の要望があった場合の対応は

### 復興公営住宅の整備について

**問** 今年度計画の整備の進捗状況と今後の予定及び完成時期は

**答** 町で最初の整備となる(仮)上野団地は、令和7年3月に事業者を決定し基本契約を締結した。今後、買取価格を設定し議決後着工し8年秋口頃の入居を目指す。(仮)白山第2団地、第3団地は、7年度内に設計協議を完了し、9年3月下旬頃、(仮)兜団地は、8年度初めに工事発注し、9年3月下旬頃、(仮)稲荷団地、(仮)駅西団地は、必要戸数を調整し8年度中の入居を目指す  
(金谷地域整備課長)

**問** 住吉・諸橋地区の整備は

**答** 7月予定の意向調査を基に、地域コミュニティを守る観点から公民館、集落単位での建設も検討。用地は、地元と協議する  
(金谷地域整備課長)

**問** 入居決定の方法や時期は

**答** 公募を基本に、募集戸数を超えた場合は抽選とし、集落単位の団地は公募せず入居者を選定する特定入居も検討。申込み時期は、各団地完成の約3カ月前を予定  
(金谷地域整備課長)

**問** 家賃の算定方法及び目安は

**答** 第2回目の意向調査で復興公営住宅への入居資格要件、家賃の目安等をセットで示す。調査説明会も予定  
(金谷地域整備課長)

**問** 国道249号、主要地方道能都穴水線の危険個所の解消を検討会に提案しては

**答** 県は「新たな視点に立つたインフラの強靱化」として半島沿岸部の周遊性を高める道路整備を実施する方針で、町も危険個所の解消を要望する  
(金谷地域整備課長)

### 防災対策及び訓練について

**問** 大型連休時等の職員待機体制や通信機器の見直しなど今後の防災対策の検討は

**答** 職員の待機体制も含め今できる対策を進め、改定する町地域防災計画に伴ない防災版未来づくり会議を開催し、区長・町内会長や防災士、学校関係者などの意見も取り入れ検討を行う  
(小林環境安全課長)

**問** 職員の抜き打ち参集、災害対策本部設置、防災士による避難所設置・運営訓練の計画は

**答** 能登半島地震の課題や経験を踏まえ、実践的な訓練を実施したい  
(小林環境安全課長)

## 映画「能登デモクラシー」に対する町長の見解は

### 町民の利益となるからこそ、社会福祉法人としての役割を果たす

### 穴水小学校の建替え事業について

**問** 関連して中学校施設の計画は

**答** 適切な時期に施設の老朽化度合いを評価するため耐力度調査を行い、その結果を踏まえ判断する  
(吉村町長)

**問** 同じ建物内に併設する「小中併設校」は検討されたか。小中併設校を建設する場合と現計画との比較資料は用意され、検討されたものと推測するが、計画条件の設定に至る検討過程を聞く

**答** 小中併設校の検討は行っていない。調査研究を進めた上で、小学校と中学校を同じ敷地内で配置し相互のメリットを活かした教育環境の整備に至った。穴水小学校の災害復旧の枠組みで進んでおり、穴水中学校の再建と同じ時間軸を進めることは国庫補助を受けるための要件のハードルが高くなると考える  
(吉村町長)

**問** 平成3年と比べて今回は検討資料や議論が極めて少ない。議会軽視ではないか

**答** 穴水小学校の災害復旧を大前提に進めたことで情報提供がうまくできなかった。できる



小谷 政一 議員

## 穴水駅舎及び周辺施設の再整備は線路上空をまたいだ施設等の整備も検討する

**問** 駅前から駅裏まで線路上空をまたぐ施設の計画なら面積も十分確保出来るし、通路も設ける事で児童の安全な通学が確保可能なのでは

**答** 駅舎前から駅裏までの線路上空をまたいだ施設の整備も、一つの案として検討したい  
(吉村町長)

### 能登半島絶景海道について

**問** 「能登半島絶景海道」の創作的復興に向けた検討会の概要と町が関連する事業は

**答** 能登地域の方向性を検討するため、①能登の魅力をぐるりと周遊②人が集まる道の駅へ③能登を自転車ライド④風景海道がおもてなしの4本柱と自治体の復興計画の位置づけを整理。事業内容は、穴水駅舎及び周辺施設の再整備、災害の記録や復旧状況等を継承する施設、観光バスが通行できる道路及び海岸線の整備などである  
(金谷地域整備課長)



大中 正司 議員



湯口 かをる 議員

**問** 小学校建て替えに伴う通学路の歩道整備は

**答** 六水町通学路連絡協議会による通学路合同点検でも危険個所として石川県に対し改善を要望。道路標識や路面標示を分かりやすくするなど対策を講じており、歩道整備についても要望を続ける。新しい学校施設整備に関し、様々な課題や問題を検討し児童生徒の教育環境を整備する。しっかりと交通ルールを守ること、慌てず落ち着いて行動することを指導する。  
(大間教育長)

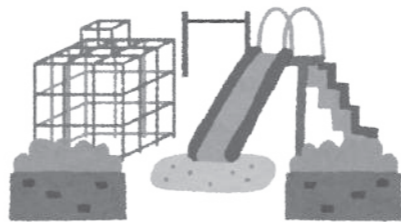
**問** 由比ヶ丘一帯の  
国定公園の復旧対策は

**答** 国定公園内施設の復旧は管理者が行うもので、各機関へ要望を行っている。陸上競技場や野球場、相撲場は町が原型復旧を進めている。潮騒の道は、石川県が崩落土砂を除去し復旧を行う。ふれあい文化センターとキャッスル真名井及びその周辺は、今後の活用策を検討する。  
(小林環境安全課長)



**問** 都市構造再編集集中支援事業の今後の取り組みについて

**答** 都市構造再編集集中支援事業の活用方法は



**答** 都市再生整備計画内の3公園は新たに公園を造るのではなく、再整備を目的とし、遊具点検や除草作業などの負担は変わらず必要である。  
(金谷地域整備課長)

**問** 3公園整備に対する町の考えは

**答** 現在、子育て健康課内のこども家庭室で事業を実施しているが、多世代交流センターが完成すると、社会福祉法人牧羊福祉会が週3日の実施を予定し土日も対応が可能となり、より一層利用しやすくなる仕組みが整う。  
(谷口子育て健康課長)

**問** 地域子育て支援拠点の事業内容は

**答** 都市構造再編集集中支援事業は、中心市街地の整備に有効な国の支援制度であるが、震災により都市再生整備計画を大幅に見直す必要があり、住民の声を反映し新たな都市のあり方を検討する。  
(金谷地域整備課長)



伊藤 繁男 議員

## 市街地で住宅再建へ向けた環境整備を進めては

少しでも早く住宅再建が出来るようインフラの整備に努める

住宅再建について

**問** 輪島市が実施する払い下げ前提の住宅整備方針を確保されたか

**答** 復興住宅に関わる奥能登4市町で定期的に意見交換会を行い情報共有を図っている。  
(金谷地域整備課長)

**問** 輪島市の住宅整備方針をどう思うか

**答** 高齢化が進む現状で、再建手法の1つではあるが、被災者の状況に合わせ選択すべきかを慎重に判断する必要がある。その判断に必要な情報提供をきめ細やかに行う。  
(金谷地域整備課長)

**問** 都市計画事業に精通した派遣職員は

**答** 経験のある職員を3市から3名受け入れている。  
(金谷地域整備課長)

**問** 被害が大きかった地域での区画整理事業は

**答** 道路など公共施設用地は土地所有者からの提供が必要で、事業期間も長期になると推察されるが、その他の整備手法も調査研究していく。  
(金谷地域整備課長)

◀ 次のページへ続く

※8ページからの続き

## 伊藤 繁男 議員

**問** 市街地で住宅再建へ向けた環境整備を進めては

**答** すでに再建している方もおり移転等には期間と費用が伴う。少しでも早く住宅再建が出来るようインフラの整備に努める。  
(金谷地域整備課長)

**問** 石川県の住宅再建に向けた上乗せ助成は、議決後、速やかに周知を

**答** 詳細が分かり次第、周知に努める。  
(宮崎副町長)

空き地について

**問** 境界確認に問題はなかったか

**答** 道路と民地との土地境界確認協議申請は、震災後7件あり、土地家屋調査士による調査及び関係者により側方流動などの問題はないことを確認した。  
(金谷地域整備課長)

**問** 地籍調査を災害復旧の国庫補助対象事業に出来ないか

**答** 町が行う地籍調査費に対する国の制度はあるが、莫大な時間と労力及び費用が必要となるため現時点では考えていない。  
(金谷地域整備課長)

**問** 空き地バンク制度の整備を

**答** 令和5年9月「空き家等バンク情報整備事業」を開始。空き地・空き店舗登録を追加し制度の充実を図り、震災後26件の空き地登録、8件が売買・賃貸を成約。更に空き地の有効活用の促進に努める。  
(中島観光交流課長)

**問** 空き地の荒廃対策は

**答** 公費解体完了通知と同時に空き地の適正な管理の協力を所有者に依頼。管理不全土地の行政指導や規制の情報啓発を行い、地域の環境美化を促進する。  
(小林環境安全課長)

**問** 防草シート購入やアスファルト施工費用への補助は

**答** 条例に基づき、土地所有者や管理者に適正に管理して欲しい。  
(小林環境安全課長)

学校施設について

**問** 財源確保で町負担が低減されたことで各施設に肉付けを行っている

**答** 夢のある学校施設とするため、設計段階においても理想となる学校像を描きながら検討を重ねる。  
(松尾教育委員会事務局長)

**問** 図書館、屋内温水プール等の仕様は

**答** 図書館は、全ての学習の基礎となる読む力を育むことや、家具配置を工夫しリラクセスできる空間をつくるなど、現代の図書館に求められる機能やサービスについて研究を行う。  
屋内温水プールは、町民の健康増進のため通年使用できる施設とし、運営方法やランニングコストは他自治体から情報収集し検討する。

多目的ホールは、校舎内に配置し複数の学年で行事ができ、ランチルームとしても利用できる多目的空間とした。屋内運動場には、小ホールを併設し用途又は学年によって使い分け出来る施設としたい。給食調理場は、敷地内に配置し小中学校の間に渡

り廊下で屋内配膳を可能とする。

グラウンドは、小中学校それぞれ150m又は200mトラックが配置できる面積を確保したい。テニスコートは現状を基準とし検討する。  
(松尾教育委員会事務局長)

**問** 地域コミュニティ施設について

**問** 上ふれあい館の再建を望む

**答** 建設中の地域密着型複合高齢者施設に併設する多世代交流センターを活用して欲しい。  
(宮崎副町長)

**問** 「多世代交流センター」の正式名称、事業主体及び建物所有者は

**答** 幅広い世代が利用する施設として分かりやすく表現するため「多世代交流センター」とし、「高次都市施設・地域交流センター」の名称は、国「都市構造再編集集中支援事業」の交付対象の名称である。事業主体、建物所有者とも社会福祉法人牧羊福祉会である。  
(宮崎副町長)

**問** 地域交流センターの機能と事業要綱は

**答** 施設例に、多目的ホール、会議室、展示場、ギャラリー、喫茶コーナーなどがある。一時保育室や会議室は個室で一定の遮音効果があり、地域子育て支援事業要綱は令和5年に制定済み。  
(宮崎副町長)

**問** 地域交流センターの監督機関は

**答** 町の補助事業で、町が監督する。24時間365日運営する介護福祉施設に併設する強みを活かして行政機能の不足を補完し、地域コミュニティ施設としての役割、災害時における避難施設として機能を十分に發揮できる施設としたい。  
(宮崎副町長)

# 町民インタビュー

## 穴水町議会

小川 奈美さん

今回は、26年前に東中谷に定住し、現在は社会福祉協議会でボランティア活動の取りまとめを担当している小川奈美さんです。

### Q 穴水町を定住先として選んだ訳は何だったのでしょうか

生まれは輪島市で、専門学校を卒業後穴水町に就職しましたが、町の皆さんの優しさに触れ、白山市出身の主人とも「定住するなら穴水町！」と決めていました。

### Q 定住後の感想は如何ですか

穴水町に定住することを決めたものの、犬を飼っていたこともあってなかなか家が見つからず、当時の職場の上司に相談したところ東中谷を紹介されました。東中谷の雰囲気（自然）がとても気に入って、住んでみて更に好きになりました。

### Q 穴水町での楽しみ方は？

町の皆さんとのいろんなつながりの中で、共通の趣味や楽しみ（音楽や海洋スポーツ）がたくさんあり、常にワクワクしています。

### Q 町議会についてのご意見をお聞かせ下さい

議会の一般質問はこれまでケーブルテレビでは観ていましたが、6月定例会を初めて傍聴しました。

様々な質問がありましたが、どのように質問内容を集めているのかが気になりました。町民の「これってどうなの？どうなっているの？」などの疑問がたくさん盛り込まれていましたが、地域住民の声をもっと、どんどん拾ってもらいたいと思いました。

質問と答弁のやり取りにも緊張感があり、聴いていて共感するところもありました。

今回、議場内の空気感なども感じ取ることができ学ぶこともありましたので、また傍聴したいと思います。



### Q 最後にご自身のこれからの夢は？

地域住民の幸せな生活を願うとともに、穴水町の良さ素晴らしさを町外（全国）に伝えていくような活動もしていきたいと思っています。

（インタビューアール： 大中 正司）

## 編集後記

この編集後記に何を書こうか決まっていなかったところ、7月9日に和歌山県選出の鶴保参議院予算委員長が参議院選の応援集会で「運のいいことに能登で地震があった」と発言したとの報道がありました。

2地域居住の政策推進を説明するにしても、能登の状況を理解していれば、どうしてもそのような言葉が出てくるのか？ 陳謝し発言を撤回しましたが、離党などは否定していません。この議会だよりが発行される8月1日にはどうなっているやら。

さて、例年なら7月初旬はまだ梅雨の最中ですが、今年は連日30度を超えて熱中症警戒アラートが出ています。これも地球温暖化という環境の変化でしょうか？空梅雨で水不足による米の収穫減少も気になります。

そんな中、公費解体は約90%が完了し、解体後の敷地に新築工事の槌音も聞こえ、県や町の災害復旧工事の発注など、ゆっくりですが復旧復興が着実に進んでいるのが見えるようになってきました。この暑さの中、工事関係者の皆さんや町民の皆様には熱中症対策を万全にし、能登の復旧復興にも頑張り続けていきたいと思います。

文責 小谷 政一

### 穴水町議会広報編集特別委員会

委員長	小谷 政一
副委員長	宮本 浩司
委員	大中 正司
委員	小坂 孝純

発行 穴水町議会 編集 穴水町議会広報編集特別委員会  
〒927-1860 石川県鳳珠郡穴水町字川島  
ラの17番地 TEL 0768-5213700

あなみず 議会だより



町議会記録は  
こちらから▶

